

令和7年度 島根県畜産技術センター基本的推進方針

島根県では、「第2期島根創生計画」において、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を将来像として掲げ、活力ある産業の創出などを進めていきます。農林水産業にかかる実行計画としては、「第2期島根県農林水産基本計画」を策定しています。

畜産分野では、このたびの基本計画においても「肉用牛の生産拡大」を重点推進事項とし、新たな美味しさ評価指標の確立やニーズを先取りした種雄牛の造成を進めてまいります。肉用牛以外については、持続可能な畜産業の実現に向け、県内産粗飼料の生産・利用拡大を進め、酪農等における中核的担い手を支援することとしています。

畜産技術センターでは、これらの事項を早期に実現するため、肉用牛の改良を推進する新たな技術の開発・普及、並びに子牛市場の購買者や消費者のニーズに対応するため、商品価値の高い子牛や特徴ある畜産物の生産に向けた技術開発に集中的に取り組めます。

加えて、畜産の担い手への支援や畜産技術者養成に対し、研修施設としての役割を果たしていきます。

1 美味しさに関する新たな選抜指標の確立と優秀な種雄牛の造成

- 1) ゲノミック評価や受精卵移植等の先端技術を用いて、市場価格をリードできる優秀な種雄牛を効率的に造成する。
- 2) 産肉能力の改良に加えて、牛肉の美味しさに関する能力(小ザシ)に着目し、小ザシ評価基準の確立とその評価手法を活用した新規ブランドを構築するための研究に取り組む。
- 3) 受精卵段階での産肉能力等のゲノミック評価を実現するために、受精卵からのDNA抽出方法や抽出後の受精卵保存技術等の開発に取り組む。

2 子牛の増産技術の開発と購買者ニーズに応える子牛市場の実現

- 1) 和牛受精卵移植産子の増産のため、受精卵の「移植実施率」と「受胎率」が向上するホルモン処理技術の確立する。
- 2) 肉用子牛の適正な栄養状態を保ちながら良好な発育をするための離乳後の給与体系や非接触で体重の推定が可能な技術の開発に取り組む。
- 3) 肉用牛の繁殖農場におけるGAP（美味しまね）の取組拡大手法を構築する。

3 担い手経営体における自給飼料を活用した低コスト化技術の定着

- 1) 自給粗飼料の生産と利用拡大のため、飼料用トウモロコシと水田裏作に対応する秋冬作飼料の栽培体系確立に取り組む。
- 2) 自給粗飼料を活用した乳用牛の低コスト飼養管理技術の確立に取り組む。

4 試験研究と普及が一体となった新技術の普及

農業技術センターや農林水産振興センター等の普及部署と一層連携し、研究成果や関連情報の普及に努めるとともに、経営に有効な技術の定着を進める。

5 畜産担い手への支援及び技術者の養成

新たな畜産の担い手への研修施設としての役割を担う等の支援、獣医師、酪農ヘルパー、農業普及員、JA営農指導員等の養成や支援に取り組む。